

# 「患者トラブルの最近の特徴と対処法 —特に医師・歯科医師と職員の身を守るために—

ハイブリッド開催

日時：4月23日（日） 13：30～15：30

場所：ホテルサンシャイン徳島（徳島県徳島市南出来島町2丁目9）

会場定員：先着30名様（定員になり次第締め切らせていただきます）

受講料：1,000円

※WEBでご参加の方には申し込み受付後、メールにて振込先をご案内いたしますので期日までにお振り込みください。会場にてご参加の方は当日集金いたします。

対象：会員・会員医療機関スタッフ

締切  
4/14(金)

一昨年末から去年にかけて2つの医師殺害事件が起きた。また去年夏には元首相襲撃事件も起きた。平成の30年を経て、いま我々を震撼させる事件は目の前で起きている。こういった事件の予兆は果たしてなかったのだろうか。調べてみると何れも予兆的行動が見て取れる。その予兆的行動を見る目、社会的な目も医療担当者にも必要とされる時代になっている。

当日はこうした背景のもとで起きている患者トラブルについて、新しい特徴と解決法を説明するとともに、こうした暗い事件の下で医師・歯科医師と職員の身を守ることはできるのか？その予防的方策はないのか？さしあたって新しい特徴の一つである「ネットでの悪質書き込み」問題を切り口にして、今の社会の全体を俯瞰し、それに立ち向かうスキルをしっかりと学ぶ。その際重要な武器となるのが昔からある「応召義務」だ。この全く新しい解釈、その「核心部分」を押さえることが重要だ。

最後に社会の歪みが何を作り出しているのかを広い視野で押さえる。その中で日本の医療界に新しい動きも作られつつあることも当日はお話する予定だ。

おのち やすひこ

## 講師：尾内 康彦 氏

1954年福岡県生まれ。大阪外国語大学卒。1979年末に大阪府保険医協会に入局。事務局次長として多くの部署を担当。勤務時期はほぼ「平成期」と重なり、この時期に患者トラブルが急増し、その対応に追われた体験を持つ。多くの専門部署を担当しながら、会員の公私にわたる様々なトラブル相談に応じてきた。その数は延べ数千件のにのぼる。定年退職後民間病院に移り、現在も勤務している。

そうした経験を活かして『日経ヘルスケア』（日経BP社）で、2005年2月から「病医院トラブル110番日記」を現在も連載中。著書に「『患者トラブルを解決する『技術』』（2012年、日経BP社）等を出版した。そして今年中にネットへの悪質書き込み対策を実例を入れて実践的に紹介する本を準備中。

## お申込み方法

※受講者には受講証を発行いたします（遅刻、早退された方には発行できません）

**会場参加の場合** ➡ FAX(088-623-6754)でお申込みください

医療機関名： \_\_\_\_\_ お名前： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ F A X 番号： \_\_\_\_\_

**WEB参加の場合** ➡ WEBでお申込みください

徳島県保険医協会ホームページ「お知らせ＆ブログ」➔

「各種研修会・講演会」➔「【会員・スタッフ対象】

医療安全管理講習会のご案内 4月23日（日）」から

申込フォームにリンクしています。QRコードからも申込フォームにアクセスできます。

